

東京大学医学部附属病院リハビリテーション部鍼灸部門主任
粕谷 大智先生が講師です！



腰痛治療の新たな可能性！

「腰痛」は日本人の8割以上が経験する痛み愁訴であり、一度重症化すると、何度も繰り返したり、慢性化しやすい性質を持つ最も多い痛み愁訴です。現在のところ、腰痛は大きく分けて4つの特徴を持っています。①原因の特定が難しい、②画像検査が痛みを語らない、③心理社会的要因が関与する、④慢性化するとややこしいの4つであります。原因の特定が難しいだけに、少なくとも生命予後や運動麻痺に関わる疾患を除外することが必要となります。また画像所見が痛みの原因を指摘できることが少ないので、実際の診察による理学所見が重要になってきます。



今回の講演では、上記の4つの特徴について解説させて頂き、最近の知見である「非特異的腰痛の多くは、脊椎（運動器）と脳、両者の機能障害の共存である」という考え方が浸透してきた。「脊椎の形態学的異常」ではなく「脊椎と脳の機能異常（障害）」という新たな視点からの鍼灸治療について実技も交えて講演したいと思います。



ぴゅあ総合
小研修室1
山梨県甲府市

朝気1-2-2

055-235-4171

（ナビ設定用です）

講習会の問い合わせは
以下に↓

・第7回 2/16 13:00～16:00

「新たな視点に立った腰痛対策と鍼灸治療」